




登録番号	第 00095 号		
登録年月日	平成24年9月11日	登録区分	第二種

名称 (型式等)	【 クロード法によるアンモニア国産化史料 】 (1)アンモニア合成管用台盤 (2)安母尼亜合成運転日誌 (3)アンモニア分離器
所在地	山口県下関市 下関三井化学株式会社
所有者 (管理者)	下関三井化学株式会社
製作者(社)	(1)フランス製 (2)クロード式窒素工業株式会社 (3)フランス製
製作年	(1)1923年 (2)1928年 (3)1930年
選定理由	日本のクロード法によるアンモニア生成は1924年、下関市彦島のプラントにより成功した。クロード法はカザレー法とならび、日本のアンモニア合成技術の源流をなす技術であるが、1,000気圧という高圧下での生成はわが国初であるばかりでなく、本家のフランスでも生成は緒についたばかりであった。本資料中、台盤は上記のプラントで二本の合成管を取り付けていたもので、分離器は1930年以降使用していたものである。また、現存最古の運転日誌は1928年2月1日から4月6日までの間、毎日の運転状況を記録したものである。当時アンモニア合成と言えば、食糧増産、軍事物資双方の観点から世界的な関心事であった中で、最初期からアンモニア合成に取り組んだ記念碑的な資料として重要である。
登録基準	一 一 イ

公開・非公開	非公開
--------	-----

写真	(1) 	(3) 
	(2) 	

その他参考となるべき事項	
--------------	--